

月刊びゃっきープレス

2007

無料配布

↑あたりまえ

8月号

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

byacky press

購入

レコーダー
デイング用にノートPC

自宅パソコンのスペック的な限界により、CD作成に暗雲が立ち込めた。今後は録音作業も増えると思われ、また、3年間弾き語りでがんばったので、一段落ということで長らく休止していた打ち込みを再開する可能性も視野に入れて、パソコンを新調することにしたびゃっきー。持ち運びのことも考えて、今まで手にしたことのないノートパソコンを購入したが、果たして今後の活躍やいかに。



縦は生姜一個とにんにく二個分。横はフォーク二つ分。とにかくバカでかいの一言

打ち込み再開か？

ハードディスクレコーダーからパソコンに演奏を移す。等間隔に「ブツブツ」とノイズが乗る。カクトーさんに相談したところ、パソコンのボードについてくるオーディオインターフェイスはオマケみたいなものだからダメだと怒られる。演奏データをパソコンに取り込むのをカクトーさんにお願いした。でもいざ自分でもできるようなならないと不便なので、きちんとしたオーディオインターフェイスを購入することとする。

現状のパソコンはOSがウィンドウズ2000でスペックもいっぱい。録音に使うには貧弱。パソコンごと買うことにする。スタジオオ等で録音する際に持ち運べるようにノートパソコンにする。初めてのノートパソコンはなんとなく軟弱な気がして今までは敬遠してきた。太古よりパソコンに慣れ親しんできたので、新しいものが軟弱に感じられる。液晶ディスプレイなども

レイなぞも軟弱の極みだったが、今じゃ主流になってしまった。ハードディスクを始めて買ったときも、内蔵ハードディスクなど信じられんと思いきや、外付けハードディスクを買ったが、ハードディスクは内蔵するのが当然の世の中になっている。3.5インチフロピディディスクが出たときなど、あんなものはおもしろい。5インチフロピディディスクはその後、駆逐された。ノートパソコンはエプソンのエンデバーを選択。本当はエンデバーのデスクトップが小さくてかわいかったから気になって買ったのだが、ノートパソコンなど比較する気にはなれないので、エンデバーでよい。しかしデスクトップが小さくてよいと思ったのも今回が初めて。パソコンは高いし、でかく立派なものがないと思っていた。ダウンサイジングという言葉が流行って15年くらいな、あたり前になって誰も言わなくなってきた。

びゃっきーにもダウンサイジングの波が押し寄せてきたといったところか。OSはウィンドウズビスタ。CPUはコアツーデュオ。メモリは2GBでハードディスクは160GB。ウィンドウズビスタを使うならそのぐらいうるスペックがないと、という会社の人の受け売りそのままのスペックで注文。ホームページに掲載されていた最低価格の2倍以上の価格になる。こうなるのもはや高級パソコンである。ほとんど家には届くようにする。そして数日後パソコンが到着。開封。正直なところデカくて重い。ノートパソコンなどどれもちゃちゃで軽いだろうと思っていたが、どうやら様子が違う。ディスプレイの解像度が二種類からしか選べない。デスクトップのアイコンがデカ過ぎて使いづらい。クラッシュ表示にしたら少しも音源を音源に一曲追加することにした。(びゃっきー)

した後、バツと変な所に移動する。二本指で操作して二本指が触つてからそうなるんだ、と会社の人に怒られる。ウィンドウが有り得ない時にクローズする。ポインティングデバイスを使うとボタリックするとリックするのと同じ効果があると、会社の人に怒られる。業務時間中に私物のパソコンを使っているのに誰も怒らない。

ダンボールなどは邪魔になるので、本体と付属品だけをスポーツバッグに入れ持ち帰る。カクトーさんと約束があり、ハードディスクレコーダーもスポーツバッグに入れていたが、この2つが重なり非常に重い。バッグが肩に食い込む。とにかくパソコンは買ったので、後はオーディオインターフェイスを購入する。これを機に5年以上やっていない打ち込みも再開したい。そんなわけで5年以上前の打ち込み曲を音源に一曲追加することにした。